



平成29年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年5月12日
上場取引所 東

上場会社名 長谷川香料株式会社
コード番号 4958 URL <http://www.t-hasegawa.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長兼社長執行役員 (氏名) 近藤 隆彦
問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼副社長執行役員 (氏名) 海野 隆雄 TEL 03-3241-1151
四半期報告書提出予定日 平成29年5月15日 配当支払開始予定日 平成29年6月1日
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年9月期第2四半期の連結業績（平成28年10月1日～平成29年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第2四半期	22,991	0.7	3,077	35.9	3,363	49.9	2,351	52.4
28年9月期第2四半期	22,825	4.3	2,263	28.8	2,243	5.4	1,543	31.0

(注) 包括利益 29年9月期第2四半期 4,487百万円 (199.4%) 28年9月期第2四半期 1,499百万円 (△71.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第2四半期	55.44	55.37
28年9月期第2四半期	36.38	36.36

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年9月期第2四半期	104,266	83,731	80.2
28年9月期	100,853	79,939	79.2

(参考) 自己資本 29年9月期第2四半期 83,668百万円 28年9月期 79,902百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期	—	15.00	—	17.00	32.00
29年9月期	—	16.00	—	—	—
29年9月期(予想)	—	—	—	16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年9月期の連結業績予想（平成28年10月1日～平成29年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,000	0.9	5,610	8.7	5,830	12.9	4,070	11.9	95.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年9月期2Q	42,708,154株	28年9月期	42,708,154株
② 期末自己株式数	29年9月期2Q	281,449株	28年9月期	281,269株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年9月期2Q	42,426,791株	28年9月期2Q	42,427,085株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、日本銀行の金融政策や政府の経済対策を背景に雇用・所得環境や企業収益等の改善が続き、景気は緩やかな回復基調にあったものの、中国をはじめとする海外経済の減速、英国のEU離脱問題、米国の政策動向や為替相場の変動等の影響が懸念され、依然として先行きは不透明な状況で推移いたしました。

一方、香料業界は、国内市場の成熟化、同業者間での競争激化、品質保証に関する要求増加など依然として厳しい状況にありました。

このような環境の中で、当社グループは製品の品質管理と安全性の確保を第一に、研究・技術開発力の一層の向上に努め、当社独自の高品質・高付加価値製品の開発に注力してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間におきましては、売上高は22,991百万円（前年同期比0.7%増）と増収となりました。なお、当社単体の売上高は前年同期比1.3%の増収、海外連結子会社の売上高は、長谷川香料（上海）有限公司が前年同期比7.4%の減収（現地通貨ベースでは同4.0%の増収）、T. HASEGAWA U. S. A., INC. が前年同期比8.8%の増収（現地通貨ベースでは同15.7%の増収）、マレーシアのPeresscol Sdn. Bhd. が前年同期比4.2%の増収（現地通貨ベースでは同14.4%の増収）となりました。

部門別に見ますと、食品部門は、T. HASEGAWA U. S. A., INC. の売上が増加した一方、長谷川香料（上海）有限公司の同部門の売上が円高の影響により減少したこと等を主因に前年同期並み（前年同期比0.1%減）の19,651百万円となりました。

フレグランス部門は、当社のトイレタリー製品向けの売上が増加したこと等を主因に前年同期比5.8%増加し、3,339百万円となりました。

利益につきましては、営業利益は売上増及び売上原価の減少による売上総利益の増加並びに販売費及び一般管理費の減少を主因に前年同期に比べ813百万円（35.9%）増加し、3,077百万円となりました。経常利益は営業利益の増加並びに為替差益の計上（前年同期は為替差損を計上）を主因に前年同期に比べ1,119百万円（49.9%）増加し、3,363百万円となりました。この結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期に比べ808百万円（52.4%）増加し、2,351百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、セグメントごとの業績については、セグメント間の内部売上高等を含めて表示しております。

①日本

売上高は17,572百万円（前年同期比1.3%増）、セグメント利益は2,461百万円（前年同期比53.4%増）となりました。

②アジア

売上高は4,052百万円（前年同期比6.1%減）、セグメント利益は731百万円（前年同期比11.5%増）となりました。

③米国

売上高は1,889百万円（前年同期比11.8%増）、セグメント利益は125百万円（前年同期は10百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

前連結会計年度末に比べ、現金及び預金が1,472百万円、商品及び製品が479百万円、原材料及び貯蔵品が127百万円それぞれ増加した一方で、受取手形及び売掛金が1,047百万円減少しました。これらを主因に、流動資産は前連結会計年度末に比べ1,008百万円増加し、51,341百万円となりました。

(固定資産)

前連結会計年度末に比べ、マレーシアで新たに工場用地を取得するなどした結果、有形固定資産が992百万円増加しました。また、株価の上昇に伴い投資有価証券が増加したことなどにより、投資その他の資産が1,412百万円増加しました。これらを主因に、固定資産は前連結会計年度末に比べ2,403百万円増加し、52,924百万円となりました。

(流動負債)

前連結会計年度末に比べ、未払法人税等が172百万円増加した一方で、支払手形及び買掛金が555百万円、賞与引当金が341百万円それぞれ減少しました。これらを主因に、流動負債は前連結会計年度末に比べ749百万円減少し、9,705百万円となりました。

(固定負債)

前連結会計年度末に比べ、株価の上昇などにより繰延税金負債が527百万円増加した一方で、長期借入金が112百万円、退職給付に係る負債が52百万円それぞれ減少しました。これらを主因に、固定負債は前連結会計年度末に比べ370百万円増加し、10,828百万円となりました。

(純資産の部)

前連結会計年度末に比べ、利益剰余金が1,630百万円、その他有価証券評価差額金が984百万円、為替換算調整勘定が1,133百万円それぞれ増加しました。これらを主因として、純資産合計は前連結会計年度末に比べ3,792百万円増加し、83,731百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年11月11日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,336	12,809
受取手形及び売掛金	15,312	14,264
有価証券	10,999	10,999
商品及び製品	6,190	6,670
仕掛品	103	173
原材料及び貯蔵品	5,152	5,279
その他	1,242	1,148
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	50,333	51,341
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	17,180	18,121
その他(純額)	13,130	13,182
有形固定資産合計	30,311	31,304
無形固定資産		
のれん	1,066	1,040
その他	1,079	1,104
無形固定資産合計	2,145	2,144
投資その他の資産		
投資有価証券	17,270	18,665
退職給付に係る資産	2	4
その他	846	862
貸倒引当金	△56	△56
投資その他の資産合計	18,063	19,476
固定資産合計	50,520	52,924
資産合計	100,853	104,266
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,661	5,105
1年内返済予定の長期借入金	5	11
未払法人税等	737	910
賞与引当金	1,116	775
役員賞与引当金	58	—
その他	2,876	2,903
流動負債合計	10,455	9,705
固定負債		
長期借入金	116	3
繰延税金負債	2,608	3,135
退職給付に係る負債	6,590	6,538
資産除去債務	70	70
長期末払金	1,027	1,017
その他	46	62
固定負債合計	10,458	10,828
負債合計	20,914	20,534

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,364	5,364
資本剰余金	7,292	7,292
利益剰余金	59,538	61,169
自己株式	△322	△322
株主資本合計	71,873	73,504
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,695	10,680
為替換算調整勘定	△1,367	△234
退職給付に係る調整累計額	△299	△281
その他の包括利益累計額合計	8,028	10,164
新株予約権	37	63
純資産合計	79,939	83,731
負債純資産合計	100,853	104,266

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
売上高	22,825	22,991
売上原価	14,328	13,798
売上総利益	8,497	9,193
販売費及び一般管理費	6,233	6,115
営業利益	2,263	3,077
営業外収益		
受取利息	15	18
受取配当金	107	115
為替差益	—	136
その他	47	46
営業外収益合計	170	316
営業外費用		
支払利息	5	3
設備賃貸費用	40	26
為替差損	137	—
その他	6	1
営業外費用合計	190	31
経常利益	2,243	3,363
特別利益		
投資有価証券売却益	142	55
特別利益合計	142	55
特別損失		
固定資産廃棄損	13	70
特別損失合計	13	70
税金等調整前四半期純利益	2,373	3,348
法人税等	829	996
四半期純利益	1,543	2,351
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,543	2,351

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成29年3月31日)
四半期純利益	1,543	2,351
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	967	984
為替換算調整勘定	△1,024	1,133
退職給付に係る調整額	13	17
その他の包括利益合計	△44	2,135
四半期包括利益	1,499	4,487
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,499	4,487
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第2四半期連結累計期間（自平成27年10月1日 至平成28年3月31日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1.	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2.
	日本	アジア	米国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	17,062	4,113	1,650	22,825	—	22,825
セグメント間の内部売上高 又は振替高	293	204	40	538	△538	—
計	17,355	4,317	1,690	23,363	△538	22,825
セグメント利益又は損失(△)	1,604	655	△10	2,249	△5	2,243

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△5百万円は、セグメント間の債権債務消去に係る為替差損益△4百万円、セグメント間取引に係るたな卸資産の調整額△1百万円、その他△0百万円であります。
2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

- II 当第2四半期連結累計期間（自平成28年10月1日 至平成29年3月31日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1.	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2.
	日本	アジア	米国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	17,313	3,881	1,796	22,991	—	22,991
セグメント間の内部売上高 又は振替高	259	170	93	522	△522	—
計	17,572	4,052	1,889	23,514	△522	22,991
セグメント利益	2,461	731	125	3,317	46	3,363

- (注) 1. セグメント利益の調整額46百万円は、セグメント間の債権債務消去に係る為替差損益2百万円、セグメント間取引に係るたな卸資産の調整額43百万円、その他△0百万円であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。